

市政を問う!

6月定例会では11人の議員が質問しました。

各会派の人数に応じて紙面の割り付けを行っています。ここでは紙面の関係でその一部を要約して掲載しています。

〔八街市ホームページに一般質問の項目を掲載してあります。〕
<http://www.city.yachimata.chiba.jp/>

やちまた21

山本 正美
押尾 定明
小澤 誠治
会嶋 弘
加藤 弘

個人質問
加藤 弘

まちの美化推進

問 本市の抱える環境問題をどのように捉えているか、またその問題点解決にどのように取り組んできたのか。

市長 埋め立て事業による土壌の汚染、生活排水などによる河川や水路の水質汚濁、各業種による悪臭・騒音・振動の発生等、多岐にわたる問題と受け止めています。この点に対し、八街市土地の埋め立て等及び土砂等の規制に関する条例を平成17年6月1日から施行し、また河川や地下水などの水質検査を行うなど、ソフト面的な整備を充実させてきました。さらには、公共水域の水質汚濁防止について、八街市家庭用小型合併浄化槽設置事業補助金や飲料用井戸水に対する八街市浄水器設置費補助金など



の助成制度も同時に進めています。

なお、小型合併浄化槽設置事業補助金の実績は、平成15年度通常補助76基、転換補助34基、合計110基。平成16年度通常補助50基、転換補助50基、合計100基。平成17年度通常補助55基、転換補助37基、合計92基。浄水器設置費補助金の実績は平成15年度25基、平成16年度20基、平成17年度10基です。

今後引き続き対応制度などの充実を図り、このような環境問題を未然に防止し、快適な暮らしを確保できるように努めていきます。

問 市民の環境学習にどのように心えてきたのか。

市長 市民の環境学習については、まず小学校3・4年生を対象に、クリーンセンターの見学などを含めた

ごみ問題・リサイクルの推進など、ごみの減量化の学習を進めています。その他、老人大学などでも環境問題について講座等を開催し、ご理解を深めていただいています。

問 市民参加のクリーン活動を始めた市民による環境美化活動にどのように取り組んできたのか。アダプトプログラムなどによる道路や公園の美化活動推進を提唱するが、どのように考えるか。

市長 現在、市内ではごみゼロ運動・自主的に行っていたらいてる季節の花の植栽による美化活動・ごみ拾いや清掃など、多岐にわたり環境美化ボランティア活動が行われています。このような現在の状況から、必ずしも制度にこだわらなければならないと考えています。

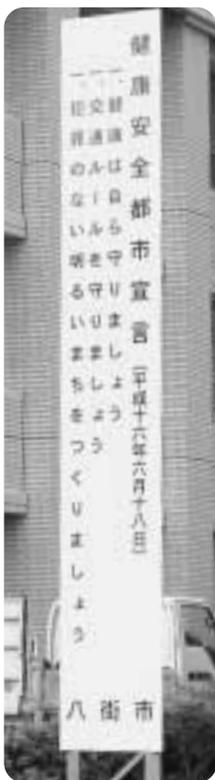
人にやさしい道路環境の整備

問 歩道の段差解消などにどのように取り組んできたか、また今後どのように取り組んでいくのか。

市長 バリアフリー化を目指す。具体的には、八街駅の北口から市役所前までの都市計画道路、国道409号から朝日区を経由し、富里市へ向かう市道223号線、笹引小学校前の市道114号線、また現在、道路改良事業を進めている文違1号線などがあります。今後引き続き、安全で人に優しい歩道づくりを進めたい。



バリアフリー道路(笹引小学校前)



問 住宅街などの道路について生活道路としての機能確立のための交通規制強化を実施していただいています。健康づくりとスポーツ振興